



東奔西走

皆さんからも市政に関してご意見をください。



【11月20～21日 日本子ども虐待防止学会にいがた大会 応募シンポジウム】
若年妊娠による児童虐待・虐待死亡事故を防ぐために、助産師、産婦人科医、小児科医、児童相談所職員、教師、女性支援団体、子ども支援団体が連携・協力した新たな取り組みです。



【12月10日 2016年度当初予算編成に向けて意見要望】
私の所属会派「市民連合」で市長に要望書を提出しました。安心して暮らすための生活支援、学校教育、若者支援の強化、防災の取り組み、柏崎刈羽原発再稼働に反対すること等の内容です。



【1月26日 新潟県女性議員の会で「新潟県予算に関する要望】
女性議員の立場から泉田裕彦新潟県知事に要望書を提出しました。要望は7点。
①人口減少、②医療、③子ども、④農業、⑤教育、⑥社会資本の維持と整備、⑦防災対策。



【1月29日 安心して通える歩道の確保を～“オアシス”と共に】
有明町にある視覚障害をお持ちの方の「障害者自立支援センター“オアシス”」。利用者の歩道の安全確保を、利用者やスタッフ、青木市議、行政担当者と現地視察。改善を図りました。



【2月3日 国会に行って少子化対策と男女共同参画の関係について聞く】
2月議会の質問準備のため、国の動きと私たち地方自治体の関連性、地方議会で出来る施策について、2010年少子化担当大臣をしていた福島みずほさんにお話を聞いてきました。



【4月3日～5日 自治体議員立憲ネットワーク研修 in 沖縄 2016・戦跡を巡る】
全国から地方議員 114人が沖縄に集い、地方自治と民主主義のあり方を、翁長沖縄県知事、稲嶺名護市長からお聞きし、最終日は戦跡を巡り、平和への思いを改めて心に誓いました。



【4月12日 18歳選挙権にむけた新潟市議会・新人議員の取り組み】
新人議員13人で、2月議会以降、連続3回の勉強会を開催し、新潟市議会提案の「主権者教育プログラム」の企画に入りました。党派を超え率直な意見交換を行っています。



【4月15日 社会福祉法人「けやき福祉会」の設立に向けて】
お年寄りも、子どもたちも、障がいのある人も、地域の人たちも、誰もが利用できる福祉の拠点作りを西区で進めています。「一人ひとりが大切にされる社会」を一步一步具現化します。

新潟市議会議員

いしづき幸子 議会活動レポート

②

新潟市議会
市民連合 市政報告

市民連合 951-8550 新潟市中央区学校町通1番町 602-1 (新潟市役所内)
TEL.025-228-1000



1年間、駆け抜けました。
元気で頑張っています。

ようやく1年が過ぎました。いつも皆さんから励まして頂いて本当に感謝しています。事務所をのぞいて声をかけて頂いたり、お電話やお手紙を頂戴したり、相談をしてくださったり、力不足ではありますが、少しでも皆さんのお役に立てることを嬉しく思っています。

コンテンツ contents

- ご挨拶1P
- 2015年
議会報告 6月定例会2P
- 2016年
議会報告 12月定例会3P
- 幸子の議員活動日誌4P

- この1年、心して取り組んできたことを5つ挙げてみます。
1. 幸子事務所を開き、皆さんがいつでも気軽に集い、話し、相談できる場を持っています。
 2. 4回の定例議会のうち、3回の一般質問をしました。
 3. 新人議員(13人)の会の会長となり超党派で勉強会を継続しています。
 4. 地域の総合福祉の拠点作りをスタートさせました。
 5. 平和と一人ひとりの人権を守るための勉強会や行動をしています。

皆さんから頂いた地域の問題は私の「政治課題」と考え、勉強し、先輩議員のアドバイスを聞き、行政に繋いできました。通学路や道路の安全対策、保安林の整備、健康増進のための施設やプールのあり方、学校給食や学童保育の現状、いじめ問題、地域包括ケアシステムの今後、空家問題、障がい者の居場所作り、教科書問題等々、一生懸命仕事をさせてもらいました。「議員の役割」を日々自問自答しながら取り組んでいます。

これからも皆さんと共に「一人ひとりが大切にされる社会」を目指していきます。

「ゆうやけこどもけやき食堂」を地元のボランティアの方々とやっています。高齢者福祉も子ども食堂も地域支え合い活動も包括した福祉拠点を目指しています。



新潟市議会議員

いしづき 幸子

無料で弁護士・税理士・社会保険労務士・市政の相談を行っています。いしづき幸子事務所に気軽にご連絡ください。
●事務所 〒950-2076 新潟市西区上新栄町 3-4-68
TEL 025-201-8413 FAX 025-201-8423
sachiko-ishizuki@grace.ocn.ne.jp

●市議会会派室(市民連合) TEL 025-228-1000 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町 602-1
●自宅 TEL 025-269-1858 FAX 025-269-1858 〒950-2076 新潟市上新栄町 4-5-82

無料
法律 / 税理
生活相談

一般質問
通告

1. 赤ちゃんとお母さんにやさしい産後ケア事業の充実
2. 子どもたちの命と食文化、食習慣を守る新潟市の「安全・安心・美味しい給食」の自校直営式学校給食を維持すること



1 赤ちゃんとお母さんにやさしい産後ケア事業の充実

産後は急激なホルモン変動で誰でもがマタニティーブルーや育児ノイローゼに陥りやすく、孤立した育児環境は「産後うつ病」の引き金にもなり、5～10%の発症率が報告されています。核家族化が進み、母子を支える状況が以前より難しくなっている中、産後ケア事業は子育てのスタートを支える大切な事業となっています。この時期の適切な支援が虐待防止と、次の子を産み育てたいという思いを支えることとなります。今後、この事業をどのように充実させていくのかを伺います。



何もかも初めてのスタート。ママたちの思いと大変さに耳を傾けていきます。

- 産後うつ病の予防、虐待の早期発見について
- 産後ケアの対象者を生後4か月までに期間延長することについて
- 経済的に余裕のない家庭が利用できるような経済的支援について
- 支援の必要な母子への継続的な支援と連携をどのように図っているのか など

市長答弁

産後ケア事業は、心身共に不安定な時期に精神的、身体的サポートを専門の医療機関などで受けることで、安心して子育てがスタートできるため、重要な事業と認識しています。対象期間を生後4か月までに延長することや個人負担の見直しなどについては、他都市の例も参考にしながら、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を総合的に検討する中で考えていきます。また、支援の必要な母子に対しては、助産師による訪問後も地区担当保健師が引き継ぎ、医療機関をはじめとした関係機関と連携しながら訪問や検診、育児相談事業などで引き続き支援をしています。

市長答弁

限られた財源の中では、既存の施設の有効活用や人件費の効果的な配分など効率的な運営が求められ、民間活力を導入してきました。委託化は、請負契約の形態で、学校給食センターから段階的に進めています。栄養教諭の指示や指導は、業務総括責任者を通してのみとなりますが、各調理員に徹底させます。また、食物アレルギーについては給食の直営校・委託校による対応の違いはありません。保護者の疑問や心配には丁寧に説明し不安の解消に努めていきます。その上で、取り入れる要望があれば可能な限り対応していきたいと考えます。委託になっても、校長、栄養教諭、業者と一体になって安全・安心・美味しい給食の提供に努めていきます。また、災害時に委託業者が炊き出しに協力することは委託業務仕様書に明記しています。

Sachiko's eye 幸子の目

質問をするにあたって、保護者や調理員、栄養教諭の方々からお話を聞き、学校給食の視察・試食にも行ってきました。学校給食は万が一の事故が許されない大変な業務。今後もこの問題を注視していきます。



季節や行事に配慮した地産地消を進める新潟市の美味しい給食です。

- 給食調理業務の民間委託の経緯と委託の形態は
- 食物アレルギー対応について
- 保護者の意向は反映されるのか
- 学校全体のチームプレーで取り組むことが出来なくなるのではないのか
- 災害時の炊き出し等の業務についてなど

一般質問
通告

1. 子どもの育ちの保障と保育園職員の待遇改善について
2. 副読本「知って、描く、My Life Plan～15歳のきみへ」について

REPORT



1 子どもたちの育ちの保障と保育園職員の待遇改善について

公立保育園 87 園の約 2,800 人の職員のうち、正規職員は 648 人で全職員の 3 割にも満たない数です。臨時職員は産休代替などの 22 条職員、8 時間臨時職員、6 時間以下の人、早朝・延長の 2 時間等の短時間勤務など、多種雇用形態・給与体系の職員が継ぎ接ぎのように複雑にシフトを組んでいます。また、正規職員は 55～60 歳の年齢構成が多いため、今後急速に経験のある保育士が不足し、臨時職員は賃金の低さと重労働から人が集まらない状況です。正規職員の確保と臨時職員の待遇改善が必要ではないでしょうか。

- 保育士の多種雇用形態・勤務シフトの実態
- 何人もの職員が時間ごとに変わる中で、保育の質や子どもの安心・安全は保たれるのか
- 今後 5 年間の正規職員の確保計画について
- 臨時職員の待遇改善について
- 園長の仕事内容、量、負担感の軽減、および管理職としての職務保障を など



ある日の保育園の様子。お昼寝が終わっておやつ時間。ゆったりと時間は流れます。

市長答弁

本市では待機児童は平成 18 年度からゼロを堅持し、休日保育や病児保育など保育サービスの充実に取り組んでいます。また、保育士配置は 1 歳児は国の基準を上回る手厚い配置をし、子どもの情緒の安定や保育士との愛着関係構築のため、保育士の担当制を取り入れるなど、保育の質の向上を図っています。様々な雇用形態の職員が交代勤務する保育園では、賃金や担当業務などの違いから職員に様々な受け止めがあることは認識しています。職員の面談などを行い、職員が働きやすい職場となるよう

他都市の事例も参考に、雇用条件の改善に努めます。今後は、正規職員は新卒者と合わせて経験者の採用も行い、臨時職員は平成 28 年度から日給と時間給の増額などの待遇改善を行う予定です。また、園長の仕事内容は園の総括責任者として多岐にわたるため、負担の軽減を考えていきます。

Sachiko's eye 幸子の目

2月議会は3月22日までの35日間の会期で開かれ、2016年度一般会計予算3,593億円が可決されました。BRT・新バスシステムの住民投票条例案は、私は賛成しましたが、議会としては否決されました。全てが勉強の1年でした。



2 副読本「知って、描く、My Life Plan～15歳のきみへ」について

国の「地域少子化対策強化交付金」で作成した中学3年生向けのライフプランの副読本は、2つの問題点があります。1. 少子化を若者の就労や格差・貧困等の社会問題と捉える視点に欠け、卵子の老化、妊娠タイムリミット等を強調することで、女性の問題に狭めている点。2. 多様な生き方が描かれていない点。地域には独身、結婚している人、子どもがいる人、いない人、障がいのある人、病気を抱えている人、一人親家庭、LGBT（性的マイノリティ）など多様な人が存在します。中学生には結婚・妊娠・出産を強調するのではなく、多様な進路や職業選択を含め人として自立する学習が重要ではないでしょうか。

- 偏った知識・情報の提供になっていないか
- 多様なライフスタイルが描かれていないが、どう伝えるのかなど

市長答弁

子どもたちが自分らしく生きていくためには、正しい情報に基づく選択が欠かせません。結婚や親になるかどうかという選択は個人の自由ですが、望んだときにそれを叶える正しい知識や情報が必要です。社会科、家庭科やキャリア教育の学習内容と結び付け、多様な選択肢の中から自分のライフプランを考えることができるように、義務教育最終年度である中学3年生に指導することとしました。副読本はDVD資料と一緒に活用することで、多様な価値観があることや、男女共同参画の視点を持つことの大切さなどを、分かりやすく伝える配慮をしています。現在、各中学校にアンケート調査を実施しており、アンケートで寄せられ声を踏まえながら、議員の指摘するような意見にも耳を傾け、生かせるものは生かしていきたいと思っています。